フォトコンテスト審査員

伊藤郁美 プロフィール

三股町餅原出身、都城市山田町在住。４１歳

【経歴】

20 歳　　スタジオゼロのカメラマンアシスタントになる。
グランドパティオ都城専属カメラマン。

27 歳～　スタジオ退社後、フォトグラファーとして独立。
鹿児島、都城を中心にブライダル撮影、学校アルバム撮影、
家族写真撮影などを専門とし、婚礼アルバムなどのデザイン制作も担う。

33 歳～　三股町を中心にホールイベント、野外イベントなどの広報用撮影に移行。
三股町と連携をとり、ふるさと祭りの記録撮影、三股町社会福祉協議会が
手掛けるコミニティデザインラボ掲載用撮影、冊子『オーバーラップ』撮影、
地域おこし協力隊企画『ＫＯＫＯＧＡＮＡＧＡＴＡ』の冊子撮影、
デザイン制作などを担う。

３８歳～　市議、町議、県議用ポスター・リーフレット撮影、病院、高校などの
パンフレット撮影、諸県弁カレンダーの企画・撮影デザイン、
五本松事業関連の広報用撮影などを担う。

40 歳～　　五本松事業関連のイベント撮影、動画編集を行う。

得意分野　　人物撮影（特に女性、こども）が得意

M Mate 通信 エムメイト

クローズアップ まちを支える人たち 122

餅原出身 伊藤郁美（35）さん

思いが重なりあうその先に

人のぬくもりが伝わる写真を

「撮影した写真から、どこか懐かしさやぬくもりを感じて、ここに行ってみたいと思ってもらえたら」と微笑む郁美さん。このほど完成した長田地区の人たちの表情や暮らしぶりを記録した写真集で撮影と構成を担当。発刊を記念した写真展も各地区で開催され、多くの反響を呼んでいる。20歳から7年間、写真スタジオに勤め、結婚式場や学校行事の撮影で技術を学び、独学でアングルや照明などの感性を磨いてきた。自分がイメージするものを追い求めるあまり、ときには依頼者の求めと"ずれ"が生じることもある。「大切なのは一歩引いて全体を俯瞰してみること。"摩擦"を怖がらず互いに対話を繰り返し導き合うことで、人のぬくもりが伝わる作品につながると信じている」と語る。依頼者の喜ぶ顔を力に変えて、"幸せの瞬間"を、これからも撮り続ける。

広報みまた
2019.5 月号
Ｍメイト掲載